

「誰一人取り残さない」学力向上

新しい時代の子どもたちに求められる「確かな学力」

石巻市では、「知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等」ととらえます。

第Ⅲ期：R10～R12「主体的な学習者」の育成

【全国学力・学習状況調査の平均正答率、全国平均以上の維持を目指す】

児童・生徒一人一人が自分の良さを自覚し、自分が学んだことによって周囲の人を幸せにしようという意識をもち、主体的に学びに向かう児童・生徒を育成する期間とします。

第Ⅱ期：R7～R9「自己調整力」の育成

【全国学力・学習状況調査の平均正答率、全国平均を目指す】

第Ⅰ期の実践の累積により、児童生徒の意欲を充実させ、授業力向上のポイントを明確化し、時間の自己管理ができる児童・生徒を育成する期間とします。

第Ⅰ期：R4～R6 学力に対する「意識改革」

【全国学力・学習状況調査の平均正答率、県平均を目指す】

「学力」は、単に「知識の暗記」という捉えから、社会を生き抜く力を身に付けるための「学び方を学ぶ力」であることへ、児童生徒、学校、家庭・地域が意識を変え、主体的な学びを確立する期間とします。

一人一人が
【学習意欲の向上】

仲間と共に
【授業改善】

自分の力で
【基本的な生活習慣の確立】

石巻市学力向上プラン

第Ⅱ期テーマ「自己調整力」の育成（R7～R9）

概要版

学習意欲の向上

- ◇児童生徒の自ら学ばう力の育成
→自ら課題を見付け様々な学ばう方で解決しようとする場の設定
- ◇児童生徒が意欲的に学ばう力を育てる実践の継続
→MLA（マルチレベルアプローチ理論）に基づいた小・中学校の連携と実践



授業改善

- ◇児童生徒が試行錯誤する時間を十分確保した授業づくり
→学びのユニバーサルデザイン(UDL)による研修の充実
- ◇単元全体の構成を十分吟味した授業実践
→単元と本時のねらいの関連などを重視した協同による教材研究や振り返り
- ◇授業研修・授業実践の累積
→教科等指導員による授業公開
→校長会支会や中学校区など学校間の連携による算数・数学を中心とした実践研究



基本的な生活習慣の確立

- ◇家庭学習の効果的累積
→時間の自己管理
- ◇メディアコントロールの定着
ゲーム時間3時間以上 全国比 小+7、中+6.7
SNS動画視聴時間3時間以上 全国比 小+6.6、中+5
→各校の実態に応じたルールまたはモデルの設定
- ◇読書活動の奨励
→電子図書Yomokka!活用（小学校）
業前など読書時間の設定
学校司書の全校配置



ICT機器の日常的活用

- ◇タブレット活用スキル向上を促す働き掛け
→新機能への柔軟な対応
- ◇児童生徒も教師もタブレットを活用する授業
→効果的活用方法の共有



よりよい学級づくりを土台として

これらの相互に関連した取組を通し「自己調整力」を高め自ら学ばう力を育成する

第Ⅰ期テーマ 学力に対する「意識改革」

第Ⅲ期テーマ 「主体的な学習者」の育成